

(仮称) 交野市立交野みらい学園
校内 LAN 環境整備事業

仕様書

目次

1 基本事項

- 1. 1 事業名称
- 1. 2 目的
- 1. 3 履行場所
- 1. 4 契約期間
- 1. 5 事業スケジュール（予定）
- 1. 6 支払い
- 1. 7 事業履行に係る基本的条件
- 1. 8 事業実施にあたっての注意点

2 業務範囲

- 2. 1 業務範囲
- 2. 2 構築ネットワーク概要

3 機器の調達要件

- 3. 1 情報ラック要件
- 3. 2 ハブボックス要件
- 3. 3 フロアスイッチ要件
- 3. 4 エッジスイッチ要件
- 3. 5 PoE スwitch要件
- 3. 6 電源タップ要件

4 調達機器の設置要件

- 4. 1 情報ラック設置要件
- 4. 2 ハブボックス設置及び電源引込要件
- 4. 3 フロアスイッチ設置要件
- 4. 4 エッジスイッチ設置要件
- 4. 5 PoE スwitch設置要件
- 4. 6 電源タップ設置要件
- 4. 7 その他の要件

5 LAN 及び情報コンセント要件

- 5. 1 LAN ケーブル要件
- 5. 2 LAN 配線要件

- 5. 3 情報コンセント調達要件
- 5. 4 情報コンセント処理要件
- 5. 5 情報コンセント表示要件
- 5. 6 1F 職員室、印刷室及び事務室のケーブル引き出し要件
- 5. 7 LAN 及び情報コンセントに係る費用

6 確認試験要件

7 プロジェクト管理

- 7. 1 整備スケジュール
- 7. 2 業務責任者及び現場責任者の配置
- 7. 3 プロジェクト管理

8 提出書類

9 その他

- 9. 1 契約不適合責任
- 9. 2 機密保持
- 9. 3 仕様書に定めのない事項に関する協議について

1 基本事項

1. 1 事業名称

(仮称) 交野市立交野みらい学園校内 LAN 環境整備事業

1. 2 目的

令和 7 年 4 月に開校予定の(仮称) 交野市立交野みらい学園の校内 LAN 環境を整備するため行うもの。

1. 3 履行場所

(仮称) 交野市立交野みらい学園 (交野市私部 1-54-1)

1. 4 契約期間

契約締結日 から 令和 7 年 3 月 17 日 まで

1. 5 事業スケジュール (予定)

内容	想定時期
契約	令和 6 年 8 月 1 日
校内 LAN 整備可能期間	令和 6 年 12 月 21 日～令和 7 年 2 月 28 日
業務完了届・報告書等提出期限	令和 7 年 3 月 17 日

1. 6 支払い

完了払い

1. 7 事業履行に係る基本的条件

- ①納入する機器等は、本仕様書に記載の要求事項を満たした上で、サプライチェーン・リスクを考慮しつつ、品質及び耐久性に十分留意した上で選定すること。
- ②本業務の実施にあたり生じた梱包物等の不要物は、受託者が撤去し適切に処理すること。
- ③本仕様書に記載したすべての要求事項にかかる費用を含めること。
- ④本仕様書を遵守し履行する上で必要なすべての諸経費についても費用に含めること。

1. 8 事業実施にあたっての注意点

- ・校内 LAN 整備可能期間の作業可能時間は、年末年始、土日祝を除く平日 9 時から 17 時まで。
- ・本事業における学校内での作業可能期間(「1. 5 事業スケジュール (予定)」に記載

の「校内 LAN 整備可能期間」中は、備品・什器等の搬入をはじめとした、様々な事業者が学校に出入りするほか、本事業外の NW 機器の移設等も行うことがあるため、作業日程及び場所等については、本市と十分協議の上決定すること。

- ・（仮称）交野市立交野みらい学園の校内 LAN 環境整備にあたっては、本事業だけでなく、他事業にて移設してくる NW 機器も含めての校内ネットワーク整備となることから、本市や本事業に係わる他事業者とも十分に連携しながら業務の遂行を図ること。
- ・本事業の実施にあたり、（仮称）交野市立交野みらい学園をはじめとする本市施設に出入りする場合は、本市担当者に事前に連絡し許可を得ること。また、本市施設内では、会社名・氏名等を記載した名札を着用すること。
- ・機器の搬入・設置・配線等の作業にあたっては、学校施設や備品・什器等を傷つけることがないように万全を期すこと。破損等が生じた場合は、受託者の費用負担にてすべて対応すること。
- ・事業実施にあたっては、各種法令を遵守すること。

2 業務範囲

2. 1 業務範囲

本事業の業務範囲は、表 1 に示す校内 LAN 整備（LAN 配線及びネットワーク機器の調達・設置・設定・動作確認試験等）とする。本事業における主な調達機器・物品は、表 2 のとおり。調達機器・物品は機器の種類ごとに同一メーカー・型番（スイッチングハブのみポート数の違いにより型番が異なっても可）かつ同一バージョンのものを選定すること。

なお、表 2 に記載の機器・物品以外でも本事業の実施に必要となる物品・消耗品等は、すべて本事業費用に含めること。

表 1.業務内容一覧

業務内容			業務範囲	
大分類	中分類	小分類	本事業で 実施	他事業で 実施
共通	校内 LAN 用 施設整備	ケーブルラック設置		○
		空配管設置（ケーブルラック周辺 ～ 情報コンセント）※ケーブル引込用針金あり		○
		情報コンセント設置個所への埋込スイッチボックス・化粧用		○

		プレート設置		
		各 NW 機器用電源確保		○
	1 階 EPS (南) 情報ラック・各 階ハブボックス	1 階 EPS (南) 情報ラック・各 階ハブボックス設置	○	
		各階ハブボックス電源引込	○	
校務系 (校務内部系・校務外部系)	ONU	光回線引き込み		○
		ONU 初期設定		○
	拠点間通信用機 器 (Flebo)	Flebo 設置・設定		○
		Flebo 配線 (ONU ~ Flebo)		○
	ルー タ	ルー タ設置・設定		○
		ルー タ配線 (Flebo ~ ルー タ)		○
	基幹スイッチ	基幹スイッチ設置・設定		○
		基幹スイッチ配線 (ルー タ ~ 基幹スイッチ)		○
	フロアスイッチ {(外部系)集線 スイッチ※ ¹ 含 む}	フロアスイッチ調達・設置・設 定	○	
		フロアスイッチ配線 (基幹スイ ッチ ~ フロアスイッチ)	○	
	エッジスイッチ	エッジスイッチ調達・設置	○	
		エッジスイッチ配線 (フロアス イッチ ~ エッジスイッチ)	○	
	情報コンセント 配線・取付	情報コンセント配線・取付 (フ ロアスイッチ or エッジスイッ チ ~ 情報コンセント)	○	
	無線 AP	PoE スイッチ調達・設置	○	
		無線 AP 配線 (PoE スイッチ ~ 無線 AP)	○	
		無線 AP 移設・取付・設定		○
そ の 他	NetSHAKER ・NAS	NetSHAKER・NAS 移設		○
	各種試験	確認試験	○	

※1 (外部系) 集線スイッチは、本市が提供するものを使用すること。(学校統合の影響で余剰になるスイッチで対応予定。)

表 2.主な調達機器・物品一覧

名称	数量	詳細
情報ラック	1	「3.1 情報ラック要件」のとおり
ハブボックス（壁用）	7	「3.2 ハブボックス要件」のとおり
フロアスイッチ	9	「3.3 フロアスイッチ要件」のとおり
エッジスイッチ	18	「3.4 エッジスイッチ要件」のとおり
PoE スwitch	1	「3.5 PoE スwitch要件」のとおり
電源タップ	10	「3.6 電源タップ要件」のとおり
電気ケーブル	一式	VVF 2.0mm 3 芯 必要数量は図面等から受託者にて積算すること
LAN 線	一式	「5.1 LAN ケーブル要件」のとおり 必要数量は図面等から受託者にて積算すること
LAN タグ	一式	参考商品：LAN タグ M-30 （同等品可）
取付枠	121	「5.3 情報コンセント要件」のとおり
情報モジュラジャック	57	「5.3 情報コンセント要件」のとおり
ブランクチップ	64	「5.3 情報コンセント要件」のとおり
雑材消耗品	一式	本事業の目的を達成するために必要となる消耗品

※LAN 線及び LAN タグは、事業者にて別紙図面等から必要数量を積算すること。積算にあたっては余裕をもった積算とすること。

2. 2 構築ネットワーク概要

(1) 構築ネットワーク概要について

本事業における構築ネットワークの概要及び調達機器の設置場所については、「別紙 1 ネットワーク機器配置及び配線概要図」のとおり。

(2) EPS 内の電源について

NW 機器を収納する 1 階 EPS 内には、NW 機器専用の電源を以下のとおり確保している。本事業の実施にあたっては、当該電源から本事業で調達する電源タップを情報ラック内に配線し、各 NW 機器稼働のための電源とすること。

場所	電源口数 (AC100V)	コンセント形状
1 階 EPS（南）	4 口	平行 2 極接地極付

※4 口のうち 2 口は、予備である。

(3) 各階ハブボックス内の電源について

フロアスイッチを収納する各階のハブボックス内には、本市が指定する分電盤内のブレーカーから事業者にて電源を引き込むこと。(各ハブボックス用に1回路を使用)なお、各階のハブボックス内には以下に示す電源口数を確保し、フロアスイッチ用の電源とすること。

場所	電源口数 (AC100V)	コンセント形状
1～3 階 ハブボックス (北・南)、 4 階 ハブボックス (南)	2 口	平行 2 極接地極付

(4) 別事業により調達・移設してくる機器等について

本事業の実施期間中または実施後に、ONU、Flebo、ルータ、基幹スイッチ、NetSHAKER、NAS 等を別事業（本市が直接実施する場合も含む）により調達又は移設する。また、これらの機器については、NAS を除き 1 階 EPS（南）に設置する情報ラック内に収納予定としている。（「別紙 1 ネットワーク機器配置及び配線概要図」参照）

3 機器の調達要件

3. 1 情報ラック要件

調達する情報ラックは、以下の要件を満たすものを選定すること。

名称	数量	要件
情報ラック {1 階 EPS (南)}	1	<ul style="list-style-type: none"> ・床置き（キャスター不要） ・ユニット数 13U 以上 (パネル取付有効スペース JIS(タテ)13H 以上) ・サイズ W1000×D600 のスペース内で扉の開閉を含めて設置可能なもの ・マグネット付きタップが取り付け可能なこと

※参考品番：FV50-607J

3. 2 ハブボックス要件

調達するハブボックスは、以下の要件を満たすものを選定すること。

名称	数量	ユニット数	要件
ハブボックス {1～3 階 (北・南)、4 階 (南)}	1	4U	<ul style="list-style-type: none"> ・壁付け ・色：ホワイト又はクリーム系統であること ・開孔カバーがボックス上部にあること ・マグネット付きタップが取り付け可能なこと
	6	3U	

			と ・エアフロー確保用スリットがあること
--	--	--	-------------------------

※参考品番：HBA3-5020N

※4 階 EPS（北）には設置なし。

3. 3 フロアスイッチ要件

調達するフロアスイッチは、「別紙1 ネットワーク機器配置及び配線概要図」「別紙3 校務系 LAN 配線図」で示す配線に必要なポート数及び要件を満たすものを選定すること。

名称	数量	必要ポート数	要件
(外部系) フロア スイッチ	5	24 ポート	<ul style="list-style-type: none"> ・10/100/1000BASE-T のインターフェースに対応すること ・ノンブロッキングであること ・IEEE802.1Q に準拠したタグ VLAN 機能を有すること ・SNMPv1/v2c/v3 による管理機能を有すること ・ループ検知及び制御が可能なこと ・電源抜け止め防止
	1	16 ポート以上	
	1	12 ポート以上	
(内部系) フロア スイッチ	1	24 ポート	
	1	8 ポート以上	

3. 4 エッジスイッチ要件

調達するエッジスイッチは、以下の必要ポート数と要件を満たすものを選定すること。

名称	数量	必要ポート数	要件
エッジ スイッチ	18	8 ポート以上	<ul style="list-style-type: none"> ・10/100/1000BASE-T のインターフェースに対応すること ・ノンブロッキングであること ・ループ検知及び制御が可能なこと ・電源抜け止め防止

3. 5 PoE スイッチ要件

調達する PoE スイッチは、以下の要件を満たすものを選定すること。

名称	数量	要件
PoE スイッチ	1	<ul style="list-style-type: none"> ・必要ポート数 入力側：DATA ポート 1 出力側：DATA+PoE ポート 4 以上

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 10/100/1000BASE-T のインターフェースに対応すること ・ ノンブロッキングであること ・ PoE 規格 IEEE 802.3at 対応 ・ PoE 給電機能 各ポート最大 30W 以上 装置全体給電可能能力 120W 以上 ・ 電源抜け止め防止
--	--	--

3. 6 電源タップ要件

調達する電源タップは、以下の要件を満たすものを選定すること。

名称	数量	差込口数	要件
電源タップ	2	8 口	<ul style="list-style-type: none"> ・ コード長：差込口数 8 口のもの 5m 以上 差込口数 4 口のもの 3m 以上 ・ 定格容量：15A・125V ・ プラグ形状：平行 2 極接地極付（AC100V） ・ 差込口形状：平行 2 極接地極付
	8	4 口	<ul style="list-style-type: none"> ・ 抜け止め防止 ・ 雷ガード機能付き ・ 差込口部分に熱に強い素材を使用した二重構造であること ・ マグネット付きでスチール面に固定できること

4 調達機器の設置要件

4. 1 情報ラック設置要件

- ・ 情報ラックの設置位置は、「別紙 2 EPS 平面図」のとおり。（詳細な設置位置や向きは、別途本市が指示するとおりとする。）
- ・ 情報ラックは、移動や転倒することがないように設置すること。
- ・ 情報ラックの設置にあたっては、安全かつ景観を損ねることがないようにすること。
- ・ 情報ラックの設置に必要な物品・消耗品等は、本事業費に含めること。

4. 2 ハブボックス設置及び電源引込要件

(1) ハブボックスの設置要件

- ・ ハブボックスの設置位置は、「別紙 3 校務系 LAN 配線図」に示す位置の天井付近に壁面付けとする。詳細な設置位置は、別途本市が指示するとおりとする。
- ・ ハブボックスは、転落することがないように本市が指定する位置に固定して設置するこ

と。ハブボックス設置位置（壁）には、以下のとおり下地が入っている。

（外側）－化粧シナ合板 5.5mm －石膏ボード 12.5mm －補強鉄板 1.2mm（補強下地）

- ・ハブボックスの設置にあたっては、安全かつ景観を損ねることがないようにするとともに、電源用の電線や LAN 線が露出することがないようにモール等を設置すること。なお、使用するモール等はハブボックスと同色（または同系色）とすること。
- ・ハブボックスの設置に必要な物品・消耗品等は、本事業費に含めること。

（２）ハブボックスへの電源引込要件

- ・受託者は、本市が指定する分電盤のブレーカー（各フロア EPS 内の分電盤）から各フロアに設置するハブボックス内に電源を引き込むこと。各フロアの EPS 内の分電盤の位置は、「別紙 2 EPS 平面図」のとおり。
- ・電源の引込に用いる電気ケーブルは、「VVF 2.0mm 3 芯」とする。
- ・電源の引込に必要な物品・消耗品等は、本事業費に含めること。

4. 3 フロアスイッチ設置要件

- ・フロアスイッチは、「別紙 1 ネットワーク機器配置及び配線概要図」のとおりに収納するものとする。

4. 4 エッジスイッチ設置要件

- ・エッジスイッチは、「別紙 4 エッジスイッチ設置図」のとおり 1 階の各室に設置するものとし、詳細な設置位置は、別途本市が指示するとおりとする。ただし、設置場所について本市から変更の指示があった場合、本市の指示に従い設置すること。
- ・エッジスイッチは、教職員用机または事務机にマグネット等で設置するものとする。
- ・エッジスイッチの設置に必要な物品・消耗品等は、本事業費に含めること。

4. 5 PoE スイッチ設置要件

- ・PoE スイッチは、「別紙 1 ネットワーク機器配置及び配線概要図」のとおり 1 階（南）ハブボックス内に収容するものとする。

4. 6 電源タップ設置要件

- ・電源タップは、本市の指示に従い以下のとおり取り付けること。
8 口：1 階（南）情報ラック内に 2 つ
4 口：1 階職員室 OA フロア床下、1～3 階（南・北）ハブボックス内、4 階（南）ハブボックス内に各 1 つ
- ・電源タップの電源は、設置場所に応じて以下①～③のいずれかから取得すること。
①EPS 内に確保している NW 機器用の電源

- ②1 階職員室 OA フロア床下の電源（床下まで専用電源を引込済み）
- ③「4. 2 ハブボックス設置及び電源引込要件」でハブボックス内に引き込んだ電源
- ・電源の配線は、余剰な電気ケーブルを束ねるなどして美観を意識して配線すること。

4. 7 その他の要件

- ・フロアスイッチ他機器は、使用にあたり設定が必要な場合は本市の指示に基づき設定作業を行い、稼働前に電源に接続し、使用可能な状態とすること。
 - ・情報ラック内に収納する機器の電源プラグ側には、タグ等を用いて機器名称が分かるようにすること。
 - ・本事業で導入する情報ラック、ハブボックス及び集線スイッチには、テプラ等で以下の情報を記載すること。
- 記載内容：導入年度、事業名・導入事業者名、管轄部署名（まなび未来課）

5 LAN 及び情報コンセント要件

5. 1 LAN ケーブル要件

配線に使用する LAN ケーブルは、以下の要件を満たすものを選定すること。

項目	要件
規格	CAT.6A
被覆の色	<p>【イエロー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基幹スイッチ ～ 内部系フロアスイッチ ・内部系フロアスイッチ 以下の全ての配線 <p>【ライトブルー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記イエロー以外の全ての配線 （基幹スイッチ ～ 外部系フロアスイッチ 外部系フロアスイッチ 以下の全ての配線）

5. 2 LAN 配線要件

- ・基幹スイッチに係る配線は、事前に本市と十分協議の上、接続ポートを確認すること。
- 配線イメージ図は、「別紙 1 ネットワーク機器配置及び配線概要図」のとおり。基幹スイッチから各フロアスイッチへ配線し、フロアスイッチから情報コンセント等へ配線する。
- ・フロアスイッチから末端側の各フロア内の配線箇所は、「別紙 3 校務系 LAN 配線図」のとおり。「別紙 3 校務系 LAN 配線図」は、配線の概要図となっているので、配線の詳細経路及び配線に係る LAN ケーブル長等の詳細は、「別紙 6 （仮称）交野みらい学

園図面」等を参考に事業者にて確認・算出すること。

- ・配線にあたっては、別事業で設置するケーブルラック（事前に確保されている LAN 線用エリア）及び空配管を活用すること。※空配管のない箇所の施工は、本市に確認の上、本市の指示に基づき行うこと。（例、職員室 OA フロア床下の配線や職員室天井付け予定の無線 AP 用の配線などは、空配管がないため転がし配線の想定）
- ・情報コンセント側は、情報コンセントと整備した LAN ケーブルを接続し、情報コンセントとして使用可能な状態とすること。（「5. 4 情報コンセント処理要件」参照）
- ・エッジスイッチから教職員用端末への配線における端末側の LAN 線については、別事業にて調達する教職員用機の卓上のいずれの位置に PC を設置しても十分対応できるよう LAN ケーブル長を確保した上で、端末側の LAN 線は養生テープ等で卓上に仮止めすること。（「別紙4 エッジスイッチ配置図」参照）
- ・すべての配線は景観に配慮し、乱雑になることがないように必要に応じて束ねるなどして美観を意識して配線すること。
- ・すべての LAN ケーブルの両端には、本市の指示に基づき、LAN タグを用いて接続先をラベリングすること。

参考商品：LAN タグ M-30 （同等品可）

- ・配線施工に先立ち、事前に現地調査を行い、配線経路を確認すること。配線のために点検口が必要と認められる場合、事前に本市と協議すること。

注意

「別紙3 校務系 LAN 配線図」に示す配線区間のうち、以下の区間はすでに配線済み（Cat.6A【ライトブルー】）のため本事業では当該区間以外の区間を配線すること。なお、当該区間は配線のみ行っており、末端処理は本事業にて実施すること。

【配線済み区間】

「別紙3 校務系 LAN 配線図」1F の黄色網掛け部分

- ・外部系情報コンセント～1F(南)ハブボックス区間 合計 9 箇所
- ・内部系情報コンセント～1F(南)EPS 区間 合計 1 箇所

5. 3 情報コンセント調達要件

調達する情報モジュラジャックは、以下の要件を満たすものを選定すること。

【数量】 取付枠：1 2 1

情報モジュラジャック：5 7

ブランクチップ {色：ミルキーホワイト（フルカラー）}：6 4

【情報モジュラジャック要件】

- ・ Cat.6A 対応
- ・スプリングシャッター付き
- ・色：ミルキーホワイト（フルカラー）

5. 4 情報コンセント処理要件

【前提条件】

- ・壁付け情報コンセントは、埋め込みボックス（品番：DS37444B または DS3754B）、化粧用プレート（電気コンセント×2、情報コンセント×1 が一体のもの）及び空配管が事前に設置されており、電気コンセントは取付枠の設置含め配線処理が完了している。

【要件】

- ・情報コンセントの処理箇所は「別紙3 校務系 LAN 配線図」のとおり。「別紙3 校務系 LAN 配線図」に記載のうち、LAN 配線を行う情報コンセントについては、取付枠及び情報モジュラジャックを取り付け、LAN 線と情報モジュラジャックを接続し、情報コンセントとして使用できるようにすること。「別紙3 校務系 LAN 配線図」に記載のうち、LAN 配線を行わない情報コンセントについては、取付枠及びブランクチップの取り付けを行うこと。

5. 5 情報コンセント表示要件

- ・情報モジュラジャックの上部には、「別紙5 情報コンセント表示図」のとおり、テプラ等で表示名を表示すること。表示名シールのサンプル及び貼り付け方法、保護方法を事前に本市に提出を行い、本市の承認を得ること。

5. 6 1F 職員室、印刷室及び事務室のケーブル引き出し要件

- ・1F 職員室及び事務室は OA フロアになっており「別紙3 校務系 LAN 配線図」に記載のとおり、壁付け情報コンセント以外の箇所については、床上ケーブル引き出しとする。
- ・床上に引き出すケーブルの長さは、引き出し位置が現状の引き出し箇所から移動しても十分対応できるよう、床下で 5m 程度余剰のある長さとする。
- ・床上に引き出したケーブルは、情報プラグ処理を行うこと。

5. 7 LAN 及び情報コンセントに係る費用

- ・本業務に係る物品調達（LAN 線や LAN タグ、情報コンセント等）及び施工にあたり必要な器具や物品等に係る費用並びにその他人件費等必要な一切の費用は本事業費に含めること。

6 確認試験要件

本事業による整備完了後、導入機器やネットワークが正常に動作しているかを以下のとおり確認すること。

(1) 確認試験実施計画書の作成

受託者は、事前に確認試験実施計画書を作成し、本市の承認を得ること。確認試験には以下の内容を含むこと。

- ・ 導入した全 LAN ケーブルに係る試験
ワイヤー・マップ、抵抗、伝搬遅延、長さ、伝搬遅延時間差、近端漏話減衰量(NEXT)、リターン・ロス（双方向試験）試験などを実施すること。
- ・ 導入した全機器に係る試験

(2) 確認試験の実施

受託者は、確認試験実施計画書に基づき確認試験を行うものとする。確認試験の結果、不具合等が見つかった場合、本市及び必要であれば関係事業者等と連携しつつ、正常な状態となるように是正すること。

(3) 試験成績表の作成・提出

確認試験の結果は試験成績表にまとめ、本市に提出すること。

7 プロジェクト管理

7. 1 整備スケジュール

校内 LAN 環境整備は、安全かつ確実に令和 7 年 2 月 28 日までに完了させること。整備にあたっては、学校内での作業可能期間（「1. 5 事業スケジュール（予定）」に記載の「校内 LAN 等整備可能期間」）に先立ち、事前に本市と綿密な打ち合わせを行い、整備スケジュールを作成すること。整備は、本市の承認を得た整備スケジュールに基づき実施すること。

なお、本市は、承認後の整備スケジュールの変更を必要に応じて要求できるものとし、受託者は、本市と協議の上、これに従うものとする。

7. 2 業務責任者及び現場責任者の配置

受託者は、本業務全体の実施にあたり、業務責任者及び現場責任者を配置すること。

業務責任者：本業務の遂行に向けて全体を指揮・統括する者

現場責任者：学校内での整備業務における現場管理を担うほか、本業務の遂行にあたり主として作業を担う者

7. 3 プロジェクト管理

業務責任者は、本事業を滞りなく安全に遂行できるようプロジェクト全体の管理を行うこと。また、学校内での整備業務実施前は概ね月 1 回程度、安全かつ確実な整備業務の実施に向けて本市と打ち合わせを行うこと。学校内での整備期間 1 か月程度前から整備期間中は、本市の求め又は必要に応じて詳細な打ち合わせを行うこと。

整備事業実施前の打ち合わせには、業務責任者と現場責任者は原則参加すること。整備期間中の打ち合わせには、現場責任者は必ず参加するものとし、本市の求め又は必要に応じて業務責任者も参加すること。

8 提出書類

受託者は、本事業の履行に伴い、以下の提出物をデータ及び書面（ファイル綴じ）で提出すること

提出時期	提出物	概要
業務着手前	着手届	本業務に着手する旨の届け出
	業務実施計画書	本業務の実施体制、全体工程表（スケジュール）、納品物品の数量・型番等、納品物の搬入計画等の概要を実施計画としてまとめたもの
	業務責任者届 （様式 1）	業務責任者は本業務の遂行に向けて指揮・統括するもの
	現場責任者届 （様式 2）	学校内での整備業務の管理を行うものとして、現場責任者を定めること
学校内での整備業務前	整備スケジュール	学校内での作業期間中の詳細な整備スケジュール、LAN 及び備品の搬入時期
打ち合わせ会議実施後 7 日以内	議事録	本市との打ち合わせ会議の議事録
整備業務期間中～業務完了後	作業日報	日ごとの作業の進捗状況を記録した日報
確認試験前	確認試験実施計画書	確認試験の実施項目等をまとめた計画書
確認試験後	試験成績表	確認試験の実施結果をまとめた成績表
業務完了後	完了届	業務が完了した旨の届け出
	納品機器一覧	本業務で導入した機器の情報をまとめた一覧
	ネットワーク構成図	ネットワーク構成をまとめた図

	校内配線図	校内配線をまとめた図
	試験成績表	導入機器の品質及び設定内容を検査する試験の成績書。ケーブル試験結果含む。
	施工写真	各機器等の導入前・後及び LAN 配線前後の写真をまとめたもの

9 その他

9. 1 契約不適合責任

納品物について、検収完了後1年以内に契約不適合（設定作業含む）が発見された場合は、本市は、受託者に対して、その契約不適合の修補、代替品の引渡し又は不足分の引渡しによる履行の追完をさせることができる。

9. 2 機密保持

受託者（再受託者、退職者等も含む）は、本事業において知り得た情報を本事業の目的以外に使用し、または第三者に開示もしくは漏えいしてはならない。本規定は、本事業の契約が終了し、または解除された後においても同様とする。

9. 3 仕様書に定めのない事項に関する協議について

この仕様書に定めのない事項又はこの仕様書について疑義の生じた事項については、本市と受託者とが協議して定めるものとする。